

1 長唄新曲・松の三番叟 日本舞踊岩井流教習所
編曲/補曲:松島庄十 構成:村山亘

立方 岩井寿智恵

もともと「三番叟」は神様への奉納舞踊でした。たくさんの三番叟物が工夫して作られており、原型を踏まえたご祝儀曲として現代でも上演されます。

2 相川音頭 四流派合同作品 新潟県民謡立方 西川楚静 藤間高紫乃 一条翠玉
宗山流結

相川金山に江戸幕府の奉行所が置かれた頃、毎年7月15日の盆にその奉行所の前で踊られていたことから「御前踊り」とも呼ばれていました。踊るとき奉行に顔を見せるのは失礼だと笠をかぶって素顔を隠して踊ります。

3 風流深川唄 一条翠玉日舞教室
作詞:吉岡治 作曲:岡千秋

立方 一条桜玉

4 祝賀の舞 西川壺瑚日舞教室
作詞:長谷川洋 曲:細川潤一立方 西川瑚生 西川心瑚 西川真瑚
砂川将志 砂川裕斗

晴れの柵の音で幕が開くと、今日の舞台を寿ぎ5人の若者が和やかに楽しく踊ります。

5 大和楽・松 尾上貴保日舞教室
作詞:岩田道之輔 作曲:大和久満

立方 尾上志保里

天より舞い降りし天つ乙女。羽衣をひるがえし舞い踊ります。

6 城 大河流寛祥会大河寛祥日舞教室
作詞:志賀大介 作曲:原譲二

立方 大河祥鈴 玉那覇春美 安次嶺あけみ

耳をすませば石の声、歴史を語る風の声、風雪に耐え城在りて山河をのぞく天守閣。

7 昴 一条翠玉日舞教室 作詞/作曲:谷村新司

立方 一条翠美

8 小曲二題 若柳流若美会**さんさ恋しぐれ** 作詞:石本美由紀
作曲:岡千秋

立方 若美久之 若美都志之

民謡「さんさしぐれ」の曲をもとに作られたものです。

端唄・春はうれしや 作詞/作曲:不詳

立方 若柳洋美

美空ひばりの歌にあわせて四季を踊ります。

9 大和楽・うちわ売り 尾上貴保日舞教室
作詞/作曲:大和久満

立方 尾上貴保

江戸の町はあらゆる職業、多くの物売りが闊歩し威勢のいい掛け声であふれていました。夏になるとうちわを売り歩く者も現れ、さぞ賑やかだったことでしょう。

**1 大和楽・柳絮(りゅうじょ)** 若柳寿美之日本舞踊教室
作詞:立石隆一 作曲:大和久満 作調:堅田喜美久

立方 若柳寿美之

正派若柳流制定曲。芽柳が春夏、柳絮が秋冬の踊りです。

2 道南夫婦船 一条翠玉日舞教室
作詞:星野哲郎 作曲:新井利昌立方 渡久地富貴子 池原幸子
豊見山末美子 津波涼子**3 夢芝居** 宗山流結の会 作詞/作曲:小椋佳

立方 宗山流結

恋のカラクリ夢芝居・・・のフレーズで始まる男と女の恋のかけひきを、ドラマチックに踊ります。

4 古城 大河流寛祥会大河寛祥日舞教室
作詞:高橋掬太郎 作曲:細川潤一

立方 大河祥吟 嘉数豊子 照屋輝子

楼閣は雲を静し風は白壁を巡りて千年を渡る〜詩吟を取り入れ昔の栄華を偲びつつ切々と表現します。

5 ディスコお富さん 西川壺瑚日舞教室
作詞:山崎正 作曲:渡久地政信立方 西川瑚生 西川心瑚 西川真瑚
砂川将志 砂川裕斗

昭和を代表する歌手、春日八郎の「お富さん」をディスコ調の曲にのせて軽快に踊ります。

6 演歌桜 大河流寛祥会大河寛祥日舞教室
作詞:新元創子 作曲:三島大輔

立方 大河祥鈴 玉那覇春美 安次嶺あけみ

赤い火を吹く阿蘇の山、燃える思いはそれにも増して熱い思いで舞い上がる。浪花節と演歌を織り交ぜ軽快なリズムで楽しませてくれます。

7 大和楽・雪の降る街を 西川壺瑚日舞教室
作詞:内村直也 作曲:大和久満

立方 西川壺瑚

音もなくしんと降り積もる雪。まるで夢幻の世界へ誘うような。思い出は甘く切なく、時には狂おしく・・・

8 すみだ川ぞめき 大河流寛祥会大河寛祥日舞教室
作詞:佐伯孝夫 作曲:服部良一

立方 大河祥富士 大河祥秋

隅田川を背景に、三味の音色に柳も揺れて、いきな芸者が艶っぽくあでやかに表現します。

9 舞のにぎわい 流派代表者コラボ作品**夜桜小唄** 作詞:平山清太 作曲:池多孝春

立方 大河寛祥 岩井寿仙

桜舞い散る春の宵、川の流れに屋形船、昔ながらの風流な花の宴へと誘います。

祭り酒 作詞:宇山清太郎 作曲:池多孝春

立方 一条翠玉

祭りばやしの太鼓やチャンチキの調子よいリズムとともに、明るく楽しく盛り上げます。

俚奏楽・雪の山中 作詞/作曲:本条修太郎

立方 藤間高紫乃

日本海に面した石川県の雪深い山中温泉、元歌の山中節を現代風にアレンジした踊りです。

「舞くらべ花の絵姿」より二枚扇 作詞/作曲:不詳

立方 尾上貴保 宗山流結

長い曲からの抜粋です。かつて宝塚のショーで踊られたもので、音質の悪さがむしろ昭和の頃のノスタルジックを感じさせます。